

1. 件名：泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年4月12日(水) 15時00分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、馬場係員、松末技術参与

北海道電力株式会社：松村執行役員 他7名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・泊発電所3号炉 耐津波設計方針について
(引き波時の評価に係る指摘事項回答)

時間	自動文字起こし結果
00:00:02	規制庁谷です。別途面談を始めます。
00:00:06	今日の面談の内容としては北海道電力から、
00:00:10	プラント側のヒアリングで説明している内容これが
00:00:18	泊3号炉の耐津波設計方針について引き波時の評価に係る指摘事項回答 ということで、プラント側にヒアリングで説明している内容を、
00:00:28	こちらのハザード側でも情報共有したいということで、
00:00:34	資料が今日出てきていると。
00:00:37	で、この資料は、プラント側で出してる。
00:00:41	ヒアリング資料と全く同じものを出してくれているということかと思 いますけどそ、そうでいいですかね。
00:00:50	北海道電力の室田でございます本資料4月10日のPRA耐津波設計方針 のヒアリングにおいて提出資料提出した資料と同じものになります。
00:01:00	はい。
00:01:02	それではこの資料の情報共有ということで説明をお願いします。
00:01:06	はい北海道電力の室田でございます。
00:01:10	先ほどもお伝えしましたがこちらの資料については4月10日の
00:01:15	耐津波設計方針のヒアリングでご説明させていただいた資料となりま す。自衛隊等としては引き波時の評価に係る
00:01:23	指摘事項回答ということでございます。ページめくっていただきまして 1ページ目お願いいたします。
00:01:29	プラント側の3月30日の審査会合です、引き波時における冷却に 必要な海水の確保について、
00:01:38	一時的な水位上昇による水位回復を見込まない潮流月を下回る時間の評 価と、
00:01:44	水位上昇による水位回復を見込んで実施する感度解析による水位の詳細 な評価のうち、
00:01:51	設計としてどちらを基準適合上の評価とするのか、資料を用いて説明す ることと、
00:01:57	いう指摘をいただいております。真ん中の囲みでございます。
00:02:01	引き波時の評価については以下の二つの評価は、考えられるというこ とで青字で記載してありますまず一つ目の矢羽根ですが、
00:02:09	こちらは水位上昇による水位回復を見込まない、貯留堰を下回る時間の 評価と、これは距離を上記の要領との比較でございます。貯留堰、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:19	前面における水位時刻歴は家から補正を考慮した時間と、
00:02:24	次のページに記載してございますが、
00:02:26	それを用いるため一時的な水位上昇による、水位回復を見込まない評価 でございます。で、二つ目の矢羽根の赤字でございますが、
00:02:35	こちらは一時的な水位上昇による水位回復を見込んで実施する管路解析 による、水位の詳細評価と、
00:02:42	こちらは海水ポンプ位置の取水可能水位との比較の評価でございます。
00:02:48	こちらについては貯留堰前面の時刻歴八景を入力した間の解析から、海 水ポンプ位置の水位を、
00:02:56	用いるため一時的な水位上昇による水位回復を見込んでおる評価となり ます。
00:03:03	で、指摘事項に対する回答でございますが、上記の二つの評価のうち、
00:03:09	一時的な水位上昇による水位回復を見込まない、潮流月を下回る時間評 価は、次、一時的な水位上昇による SE 回復を見込まないと。
00:03:19	ということで保守性を有する評価と考えてございますので、
00:03:23	耐津波設計における基準適合上の評価方法としてはそちらを選定する と。
00:03:29	ということでご説明しております。2 ページ目に、
00:03:33	先ほどの処理付の要領との比較の方法を記載してございますが、
00:03:39	真ん中に時刻歴は形を記載してございますが、
00:03:44	拡大して T ワンというふうに記載してありますが、
00:03:48	一時的な水位上昇を見込まずに、保守的に広い範囲の時間を取る。
00:03:54	この T ワンで評価するということで考えてございます。
00:03:58	今後の予定でございますが、
00:04:01	引き波時における冷却に必要な海水の、
00:04:04	格好の評価としましてこちらの貯留堰の容量との比較を選定したことを 踏まえまして、
00:04:11	これらが基準津波選定への影響に何か基準値の面で影響するかどうか を、今後確認していく予定ということで考えてございます。
00:04:22	説明については以上でございます。
00:04:30	廻谷です。
00:04:33	ちょっとただ情報共有ってということで、一番伝えたいことというのはこ れなんで今後、基準津波への、
00:04:43	影響を確認する、ここの 2 ページの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:48	ところで、こういうやり方をとるんだけど、基準津波の選定方法として、今やってるのが、妥当なのかとかいうのに今から振り替え。
00:05:00	で、
00:05:02	確認するっていうのを言いたいんですか。
00:05:05	ちょっといいですか。
00:05:07	まず、
00:05:09	北海道電力がこちらに説明しないといけないことなんののかって考えると、
00:05:15	まず前回の地震津波側の審査会合で、
00:05:19	施設側の評価の方法として、事業者はどういうふうに説明をしていたのか原有賀の人間が、
00:05:26	それが実際、施設側に問い合わせた結果としてどうなっているのか、それが変わったのか変わっていないのか、それに対して今回これを持ってきたということについては、
00:05:40	今後どういうハザードの波源の選定として事業者はどういう考え方でやるのか。
00:05:47	というところに、何かこう変更か追加の検討が生じたということであれば、その審査会合での状況も含めた上で説明をしていただきたいな。
00:05:59	多分それを説明しにきたのが今回の目的なんじゃないかなと思うんですけど、いかがですか。
00:06:05	北海道電力の室田でございます。これまでの基準津波の下降側の評価はですね
00:06:12	保守、貯留堰の展望イッパした下回る回数が-1回だけの時間が長くなるものとあと、
00:06:21	パルスを考慮した、
00:06:24	パルス判定を行った上で保守的な時間になるような、
00:06:28	加古川の時間となるようなものを二つ選定してございますが、今回この資料の2ページ目に記載してございますt湾のような、時間の取り方をした場合にですね、
00:06:40	この考え方に基づいた波源選定が行われているかどうかと、いうようなことをこれまでの結果から、問題ないかという確認をしたいというふうに考えます。
00:06:55	規制庁の名倉です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:06:58	まず、前回会合で、どういうふうに北海道電力が説明していたかというところで私の記憶してる範囲では、
00:07:07	1枚1ページ目の青等、赤で説明してるところ、
00:07:12	これはおそらくニュアンスとしては両方とも、
00:07:17	施設側の評価で使いますと、
00:07:20	どちらが主でどちらか、検証ベースとかって私は言ったんだけど、そこら辺は、明言を避けたと。
00:07:27	北海道電力の方は、
00:07:28	だから赤井ホームを施設の評価として実施するような、
00:07:33	そういうふうな印象だったと。
00:07:36	それに対して、ちょっと位置付けをちゃんとよく確認してくださいよと、他のサイトでも青色のす要は時間評価の方を主にして、
00:07:47	詳細な推移っていうその回復に関しては、これは他のサイトでも前例としては検証としてやってるんでこれは主では使ってないですよ。
00:07:58	いう話をしたと。私が施設側から聞いている話でいくと、
00:08:03	青が主であって赤は、そうではないと、主ではないと。
00:08:09	どうも検証ベースで他のサイトと同じであれば、当院と一緒にあれば検証ベースになると思うんですけど、
00:08:15	一応そういうふうな位置付けについては確認できた。一方で、今おっしゃった通り、ハザード側で、じゃあ時間評価といったときに、
00:08:27	そのやり方とも違うやり方を施設側の方で評価をするので、
00:08:32	この評価方法を取ったとしても波源の選定に影響がないということについては今後検討が必要になったのでこれからやりますよ。
00:08:42	うん。それを今日はいいに来たと。
00:08:45	だという理解なんですけどそういう理解でよろしいですか。
00:08:52	北海道電力奥寺でございます。
00:08:58	前回の会合も含めて、そのあとプラント側とも話をした。
00:09:05	結果で今室田が説明したような方法が、保守性の高い評価方法ではないかと設計の方ですね。
00:09:14	そういう判断に至ったのでまずは、その状況を伝えると。
00:09:18	ただし、こういう方法でやっていくといった時に我々がこれまで考えていった波源選定とは、手法がちょっと異なる部分がありますので、
00:09:30	今まで選ぼうとしていたやり方で、
00:09:34	プラント側で審査を評価していく。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:09:38	手法に対する、きちんと波源が選ばれるのかどうかというところを、
00:09:44	まずは確認しながら、
00:09:47	必要、確認しながら、
00:09:51	波源先手の撤去、適正な波源の選定のやり方っていうのを考えていくと、そういうようなことを説明したかった次第です。以上です。
00:10:05	規制庁の名倉です。大体理解はしたんですけども強い
00:10:10	こういった方針かもしくは結果を、
00:10:13	ハザード側の会合でもやっぱ議論なったんで多分説明が必要だと思うんですけど、その時にちょっと説明する時はもう1回ちょっとYouTube介護のユーチューブの画像を見ていただいて、
00:10:24	そちらの方でどういうふうな発言をされていてそれに対して実際はどうだったのか。
00:10:30	ということも含めてですね、説明をちょっとしていただけたらなと思います。
00:10:41	北海道電力奥寺さん。ちょこっとだけ確認。今のは、
00:10:48	言葉の確認をしたいんですけどもこれから、
00:10:51	ヒアリングとか、この件に関して進めていくときに、
00:10:55	前、会合でやりとりされた言葉等を、
00:11:01	確認の上、説明をヒアリング等で説明をして欲しいという趣旨でよろしいでしょうか。
00:11:08	規制庁の名倉です回りくどい言い方をしたんですけど、ストレートに言うてしまうと、
00:11:14	方を両方使えます。
00:11:16	もしくは貨物赤もう施設評価でちゃんと使いますというようなことを説明されていたんですけど、赤については、
00:11:23	これ主ではないと。
00:11:26	これは使えませんかと州で使うのはあくまでも青ですと。
00:11:30	ということ、はっきり言っていただきたいということと、そこは介護でこういったんですけどこれについては、青が主でした。
00:11:39	青がしなんですけど、青そのものについてのやり方が施設側とちょっと違うので、
00:11:45	それについて、波源選定今やってることが、
00:11:50	多分他の電力として妥当だと。
00:11:53	いうことを説明するために少し解析か何か検討が必要になりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:11:58	これ今そういう状況なんですね。
00:12:31	後ろに書いてあるから、それを聞いているだけなんですけど2ページの
00:12:36	今後保守性を考慮した時間に関する基準津波への影響を確認するっていうのは、
00:12:42	保守性を考慮した時間という括弧書きのこの表現については、
00:12:47	施設側で評価をするやり方のことを言っていて、それがハザード側で波源を選定するときの時間評価、
00:12:58	とも若干違うので、
00:13:01	基準津波の影響というのは基準津波の線、のときの波源の選定に対しての影響を確認すると。
00:13:10	そそういう意味でこう書いてるっていう、今後、何々を確認するっていうことの、
00:13:16	な内容を、について今お聞きしてるということだけです。北海道電力の室田でございますところの2ページ目に記載してそのTワン。
00:13:26	というような時間の取り方で波源選定をした場合にこれまで選定しているものに対して影響あるかという確認をするという趣旨でございます。
00:13:35	以上です。
00:13:40	既設の名倉です。ちょっと1点だけ確認させてください。
00:13:44	このTワンを取る時のを、
00:13:46	間に大きな山がありますよね。
00:13:52	この山っていうのはどういうふうにとるんですか。
00:13:57	要はこの山、山てるこの山を無視してって言わん取るわけですね。
00:14:02	その時にこの山尾無視していい範囲っていうのは、
00:14:06	この頂上が、
00:14:08	0メートルよりも低い場合なのか、ちょっと条件を教えてください。
00:14:14	北海道電力の室田でございますこの山の取り方、今名倉さんからご指摘のあったようなこの上昇一時的に上昇する山の時間、
00:14:25	とかですね、高さの取り方っていうのはですねまだ検討。
00:14:28	中で知ってる。
00:14:30	それが、それ決まりましたらまたそれらも含めてご説明させていただきたい。
00:14:36	どういうふうな波源選定の考え方ですね。
00:14:39	は今後ご説明したいなと考えてございます以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:14:48	すいません規制庁するケースとちょっと今の部分、今の部分とか、そこは何かまだ特に実はルール化されてないということであればこれからなんでしょうけど、
00:14:56	ちょっとその、
00:14:58	波源選定されている今の選定してる波源への影響を確認するっていうと、
00:15:03	何ていうか、碓井ハザード側の評価方法、
00:15:08	今だと何かパルスを考慮する場合の30秒ルールだとか、マイナス3メートル上回った時間をカウントするだとか、なんかそういうものは一切変えずに何か結果に影響出ているのか出ないというのかっていうふうなんです。
00:15:21	確認していくっていうそういうことなんですかね。そういう辺のやり方もまだ、
00:15:26	どのぐらい方法に差異があって結果に差異があるかも含めて、どこまで立ち戻らなきゃいけないのかも、まだわからんのでとりあえず今検討中ですよとそういうことですか。
00:15:39	北海道電力の室田でございます。正直なところですねまだ、どのようにt湾の取り方をですねどういうルールでやるかというものを決めてませんので
00:15:52	今まで選定してるものへの影響についてはちょっとまだわからない状況でございます。
00:16:01	はい。何となくこの、今日の2ページ目のこの拡大図のところを見ると、一時的な水位上昇が二つあって、右側の方は、少なくとも30秒より長くてもこれは、
00:16:11	ガサッとをスイテイカジ間として、ここ連続するものとしてですね。
00:16:16	この時間も低下時間に組めますと言っていて、左側の方はちょっとこれ30を超えるか超えないか微妙ですけど、こういったようなものは、多分現状のハザード評価でも、
00:16:28	いわゆる水回復とはみなさないパルスという形で、
00:16:32	何か考えているんじゃないかなと思います。ただこれイメージ図なので、
00:16:37	ちょっと具体的にそういうところですね、どういう判断の仕方なのかとか、少なくともハザードのほうの説明ではこういう一時的な水位回復パルスを考慮しないっていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:16:49	何ていうか何か営業を確認する参考ですに近いような燻りだったので、もともと多分、水位低下を分割して、一番長いところを取ってくるみたいなやつが整理ですみたいな説明。
00:17:01	だったように記憶してるのでその辺りもちょっと議事録とかですね、これまでどう説明してたのかっていうところはさっきあったように、きちんと確認をしてですね、どこをどう変えるかっていうのは正直に、
00:17:14	うやむやになってしまうと最後、
00:17:17	きちんと設計上影響がある範囲をこちら側でも拾えなくなってしまうんで、
00:17:24	そこはちょっと差分わかるようにしてもらいたいかなと思います。もうすでに言ってますけど、
00:17:32	北海道電力奥寺でございます。今まで説明した内容については、
00:17:38	我々が目指して他の数ポンプ位置での水位低下の観点で、
00:17:44	時間を指標にした、
00:17:47	1 山野町と谷って言ったらいいですかね、1 度の継続時間もしくは、
00:17:53	幅広に波源を選定して、
00:17:56	たくさんやることによって保守性を確保するという観点からパルスというものをそれも水位で対を評価する観点で波源を選んでいるという説明を、
00:18:05	前回させていただきましたが、
00:18:07	今回その推移は、
00:18:10	先ほど議論ありましたけれども、10 というようなものであろうと。
00:18:16	というような観点から、量で評価していくというのがプラント側での評価方針なので、
00:18:23	そうなった時に今まで我々が波源として選ぼうとしていたものにどういう影響が出るのかというのをまず確認しなければならないなど。
00:18:31	そういったところを今日ご説明したかったというところですよ。
00:18:35	もうちょっと言いますと、今、正確に
00:18:40	一時的な上りかはちょっと、何でしょうね。
00:18:43	北谷に挟まれてる山みたいなものとイメージ的に言いますと、
00:18:48	大きな傾向で言うところの、加工のトレンドのところ、先ほど0メートルより水位下降みたいなイメージの話もありましたけど、そういったところを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:18:59	取ろうかなというようなイメージを持ってるんですけどそこら辺も含めて細部が、
00:19:04	固まっていないので、先ほど室田が説明しましたように、そのやり方も含めて検討を進めていきたいというところです。以上です。
00:19:19	谷です。何かさっきから聞いてたら、もう本当に先が何も見えてないような、
00:19:24	イメージになってしまったんですけどつまりこれの、これが決まらないと、
00:19:30	このやり方決まらないところの今後やる影響を確認するっていうやり方も決まらない。
00:19:37	それが決まらないってことは、
00:19:39	今、選定しているとう縁部の津波が、テイカがこうやって選んでますよっていうのがそれでいいのかなのかわからないと。
00:19:50	でく組み合わせのもっと手前に戻るかもしれないっていう、そういうことだと理解したんですけれども。
00:19:58	てなると、この全体工程にすごく影響するような話を今こうされててそれが全然めどが立たないっていうような、
00:20:07	そういう説明ととらえていいんですか。
00:20:16	影響のほど、正直言いますと
00:20:20	主とする我々が考えていたものっていう自体がプラントが出て、やろうとしていたことってのが、
00:20:27	か変わったというかですね。
00:20:30	これをメインに波源を整合させていくというような議論が、会合でもありましたので、そういう意味では、
00:20:38	波源のやり方の適正性含めて、位置付けが変わってしまっているのかなと我々理解しています。
00:20:48	ここで影響確認していくっていう内容については、工程に影響を及ぼさないように進めていこうとは思ってます影響が及ぶとは現在のところ考えていないので、
00:20:59	及ぼさないように進めていこうかなと考えてます。以上です。
00:21:07	規制庁の名倉です。
00:21:10	まず1ページ目。
00:21:14	市、
00:21:16	貯留堰の内側の水位評価。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:21:21	これ回復時間一時的な水位上昇の回復時間とかの解析ではあるんですけど、
00:21:26	こういった詳細水位による評価というものは、既設側で採用しないので、
00:21:32	施設側で採用してるのはあくまでも貯留堰を下回る時間の評価なので基本的な次元というか、
00:21:42	評価項目のとしては、今、波源を選定しているものと同じですと、時間評価、
00:21:51	ということでは一致していましたと。だからこの間説明した詳細水位評価ってというのは、結局はそれで波源を選定する必要はありませんでしたと。
00:22:02	てのがまず一つで言わなくちゃいけないことで、
00:22:08	貯留堰を下回る時間の評価。
00:22:10	ということで、波源を選定して、する時に施設側の評価の方法と、若干違うところがあるので、山でt湾を区切る。
00:22:22	ということなんだけど、ただこれt湾の中に山野長田も入れちゃうわけですね時間を。
00:22:29	だからその違いが波源選定に影響するか否かっていうことについては、これは影響評価が必要になりますと。
00:22:39	ということかなと思いますけど今後何を確認するっていったときの、
00:22:44	スケジュール感。
00:22:46	それについては、
00:22:49	どう考えてるのかっていう説明をちゃんとしないといけないんですね。
00:22:58	とりあえず今の、時間評価時間評価の考え方で選定するってことについては一致してるんだけど、
00:23:07	だから今まで通りのやり方でしばらくは進めるんだけど、最終的に施設側のところが、後何ヶ月かで決まるので、
00:23:18	施設側のところがキー決まっ決まると合わせてこちらの方はちゃんと速やかに検討しますってということなんですね、サブの影響があるかないか。
00:23:28	ちょっとそこら辺のスケジューリングを今後どうという、
00:23:32	スケジュールでやるのかって決めないと決めてもらわないと、
00:23:37	うん、基準津波に対して影響まだわかんないですよ、影響するか否か。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:23:43	だから見通しがいい状況でいったらじゃあいつそれはやるんですかって話になるわけなんですね。それを言って、
00:23:50	やるのかっていうことを多分言わないといけないんじゃないかな。
00:23:57	今後のスケジュール説明する際なんですけど、
00:24:11	はい規制庁佐口ですけども、今日ご説明については一応聞きおきましたけど、やはり
00:24:19	我々としての県の懸念事項としては、基準津波なり今、多分一番大きな影響がある。日本海島縁部ですね。
00:24:30	これの、
00:24:31	津波評価が、じゃあどうなんだと、その影響についてはどうなんだということで、少なくとも今、この1ページとか2ページで書かれているような方法で、
00:24:44	要は下降側ですね、下降側の最大となる影響の大きい、
00:24:50	波源というのは選ばれていないので、もしこれが、
00:24:54	この今の
00:24:57	1ページ2ページで書かれている方法でやった時にもし何かこれ変わるようなことが波源ですね、変わるようなことがあれば、当然ながら、
00:25:07	それは、言ってしまえば手戻りになる話ですので、
00:25:11	ちょっとやはりここはですね、
00:25:14	スケジュール感っていうのもまず大事でしょうし、
00:25:20	ひょっとするとだから、6月までにその影響っていうのがわかればいいのかもしいんですけど、それがまだわからない状態で、このまま何か進んでいいのか。
00:25:31	場合によっては、上昇側、影響は、
00:25:35	ないよね。
00:25:36	ていう話で、ちょっと切り離してやるかもしれないですし、ちょっとそれは状況を見ながら、我々もどう、
00:25:45	対応していくのかっていうのを考えたいと思いますので、少しですねこの辺りの情報についてはですね
00:25:52	何か進展があったりした場合には速やかにご報告いただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
00:26:04	北海道電力の室田でございます。
00:26:06	衛藤。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:26:09	評価手法が決まりましてですねある程度見通しが立ちましたらですね工程含めてまたご説明させていただきたいと思います。以上です。
00:26:25	長名倉です。
00:26:26	今お答えになられてないでちょっとお聞きしたかったのは、
00:26:29	今のところもくろみとして、
00:26:32	この評価方法、
00:26:34	ていうのは、どれぐらいの
00:26:38	スケジュールで検討しようとしているんですかね。
00:27:15	規制庁の名倉です。
00:27:18	何だ、今のスケジューリングでいくと。
00:27:21	例えば6月ぐらいに、上昇が下降が説明すると、いうふうな話を今してるんですけど、状況ぐらいでは方法論的なものは説明できるかもしれないというふうなそういった、
00:27:39	オーダー間、半年とかかかるとかそういうわけではなくて短期でそこは検討していると、いうことで理解してよろしいですね。
00:27:50	北海道電力奥寺です。今、ちょっと手前勝手な工程にはなりますけれども6月、
00:27:57	の会合をスケジュール上目指しておりますけれども、
00:28:02	そのスケジュールに向けて分析、手法の妥当性、或いは必要であれば、波源選定のやり方までもしかしたらあるかもしれないというそのあたりの、
00:28:15	結論を説明、6月の会合に向けて説明できればということ定款で今考えてございます。以上です。
00:28:31	はい。
00:28:32	いや何か何かその辺が説明されないと結局、加古川の妥当性って話ができないかなっていうのがあって、一緒に説明しようとしているんだったら、ちょっとそれは、
00:28:43	考えが甘いのかもなんていやそれ結果がね全然影響ないんですとかいう話だったら、一緒に説明するっていうこともあるのかもしれないんですけど。
00:28:51	ちょっとよく考えていただいてもこれ、工程の面談も定期的にやっていますのでその中でも、ちゃんとは説明をしていただけたらと思いますのでよろしくお願いします。
00:29:05	次ですかね内。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:29:08	はい。そしたら、面談の方はこれで終わります。どうもお疲れ様でした。
----------	-----------------------------------

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。